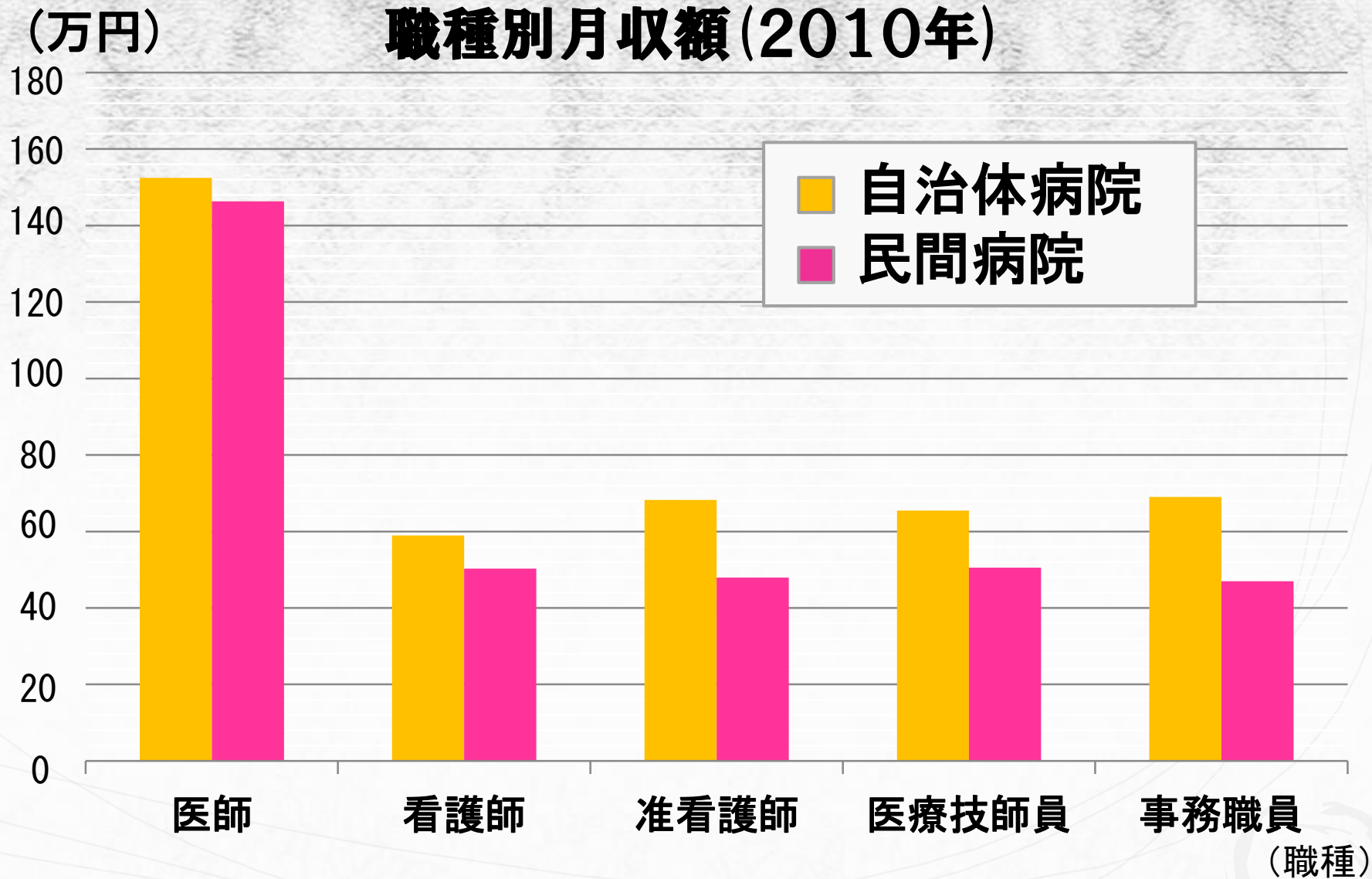
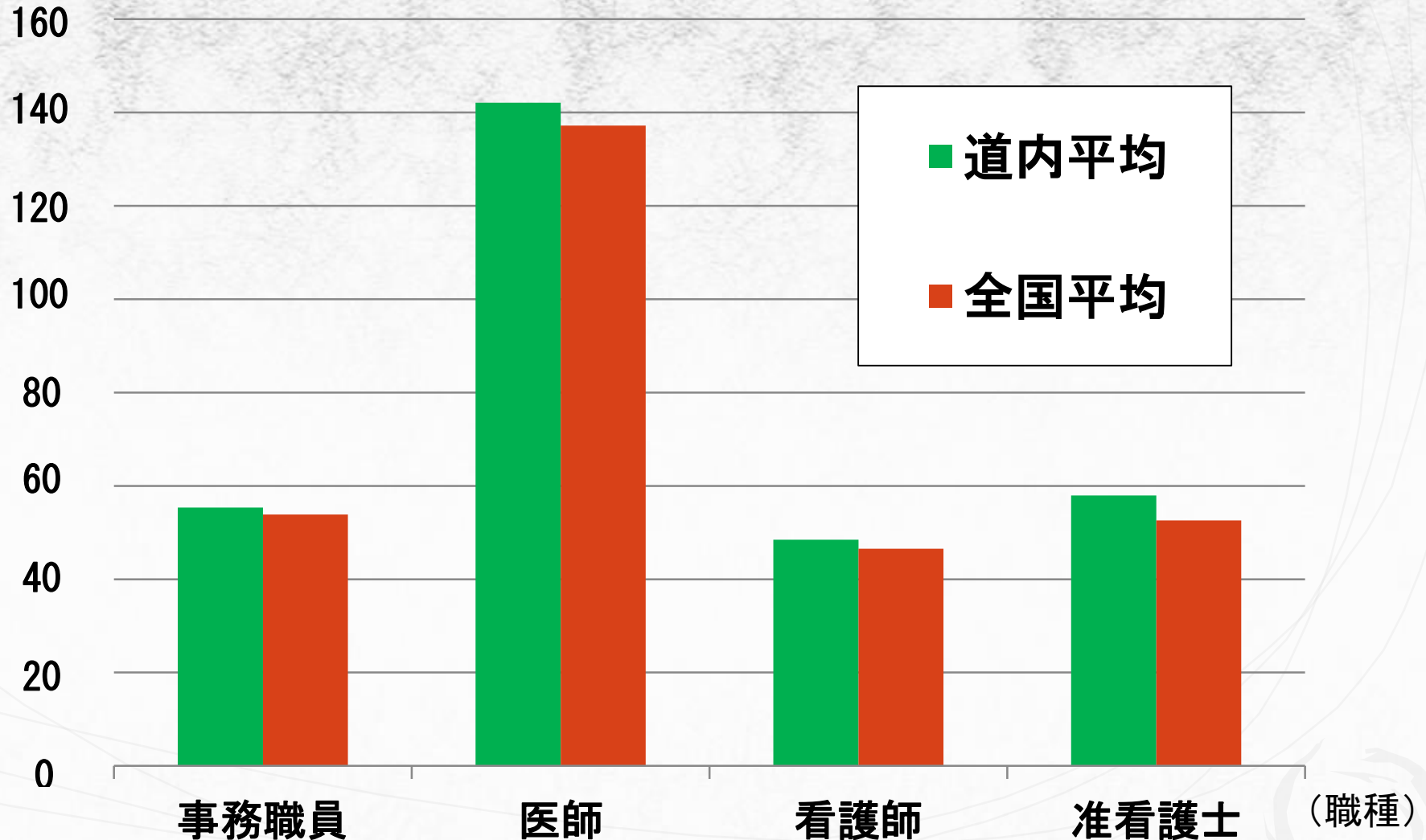


赤字原因①自治体病院の給与の高さ



全国の自治体病院と道内の自治体病院の給与比較 (平成22年度)

(万円)



赤字原因②国の低医療費政策

2006年6月 診療報酬3.16%マイナス改定

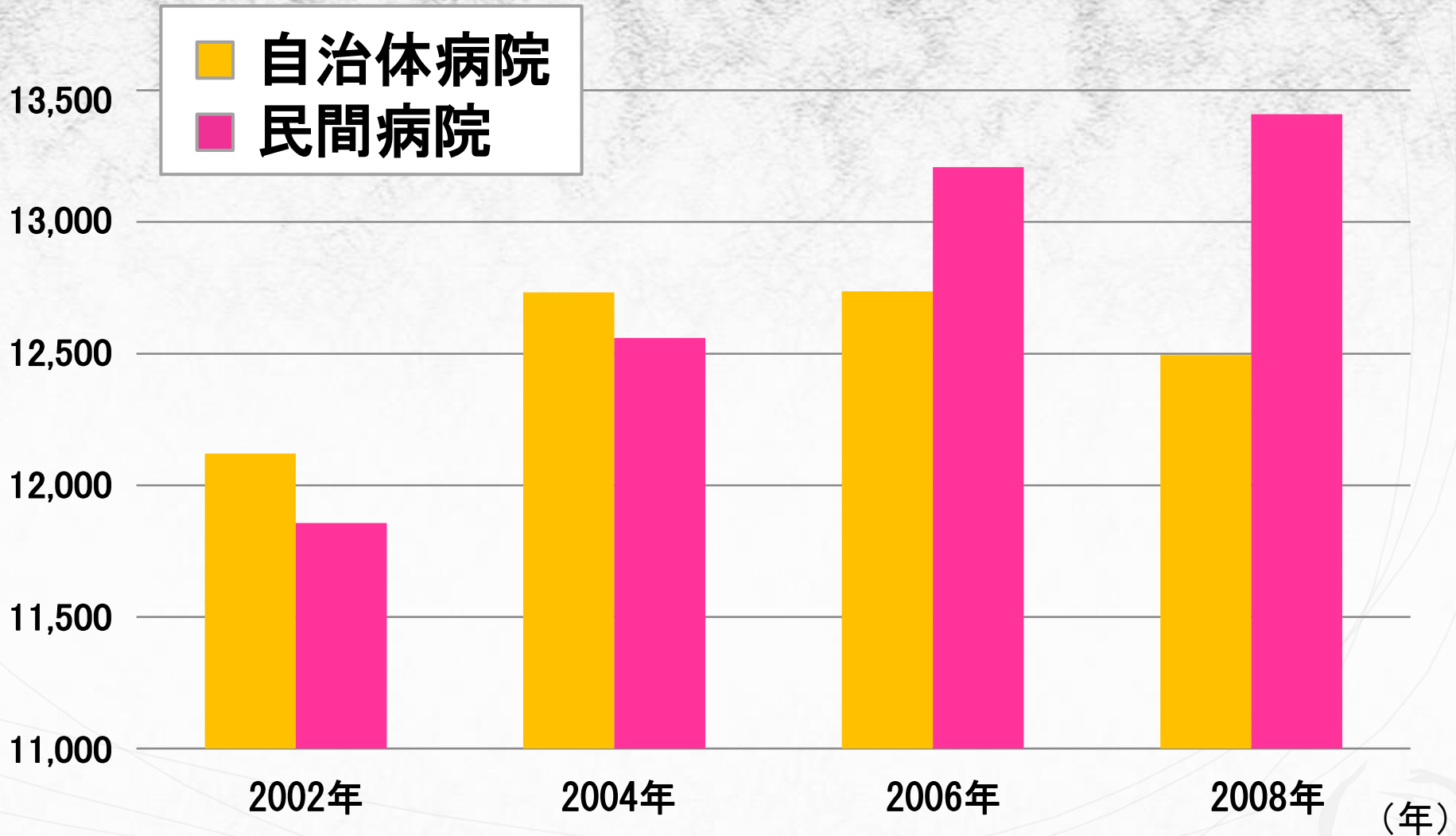


2006年 病床数100あたり	総費用	1億2102万円
	総収益	1億3927万円
2007年 病床数100あたり	総費用	1億5135万円
	総収益	1億4043万円

※70%以上の病院が赤字(私的病院も含む)

自治体病院と私的病院の医療収支

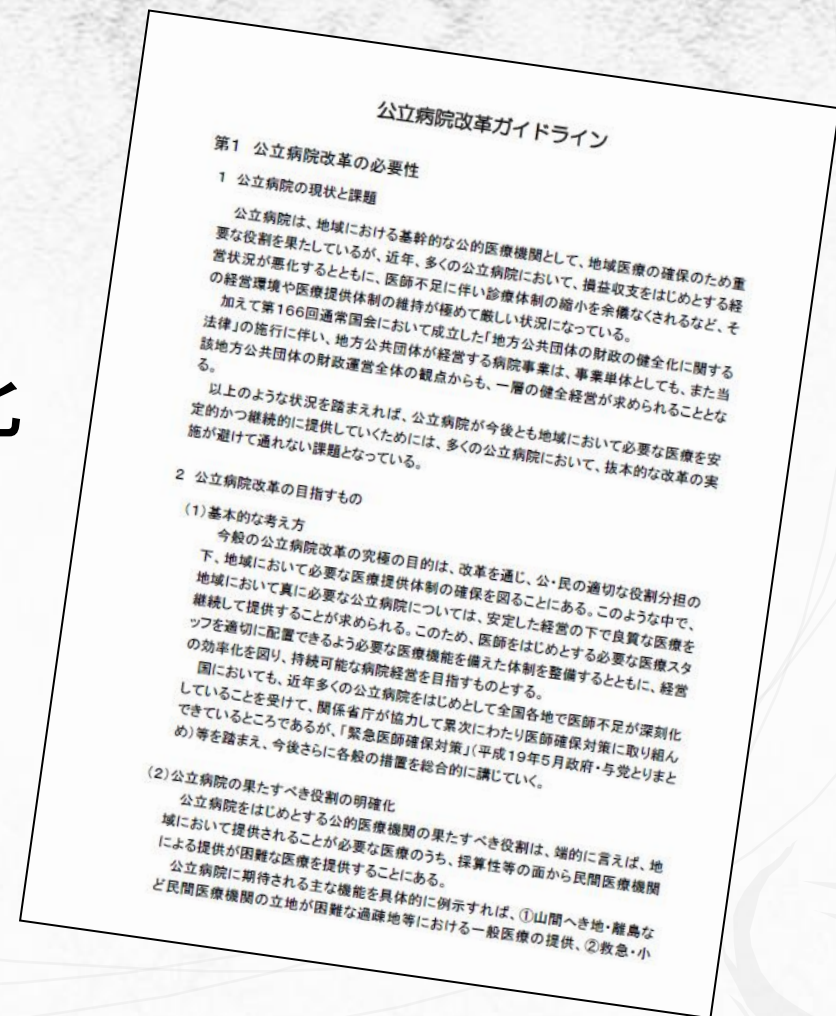
(万円)



2-3 公立病院改革の方向性

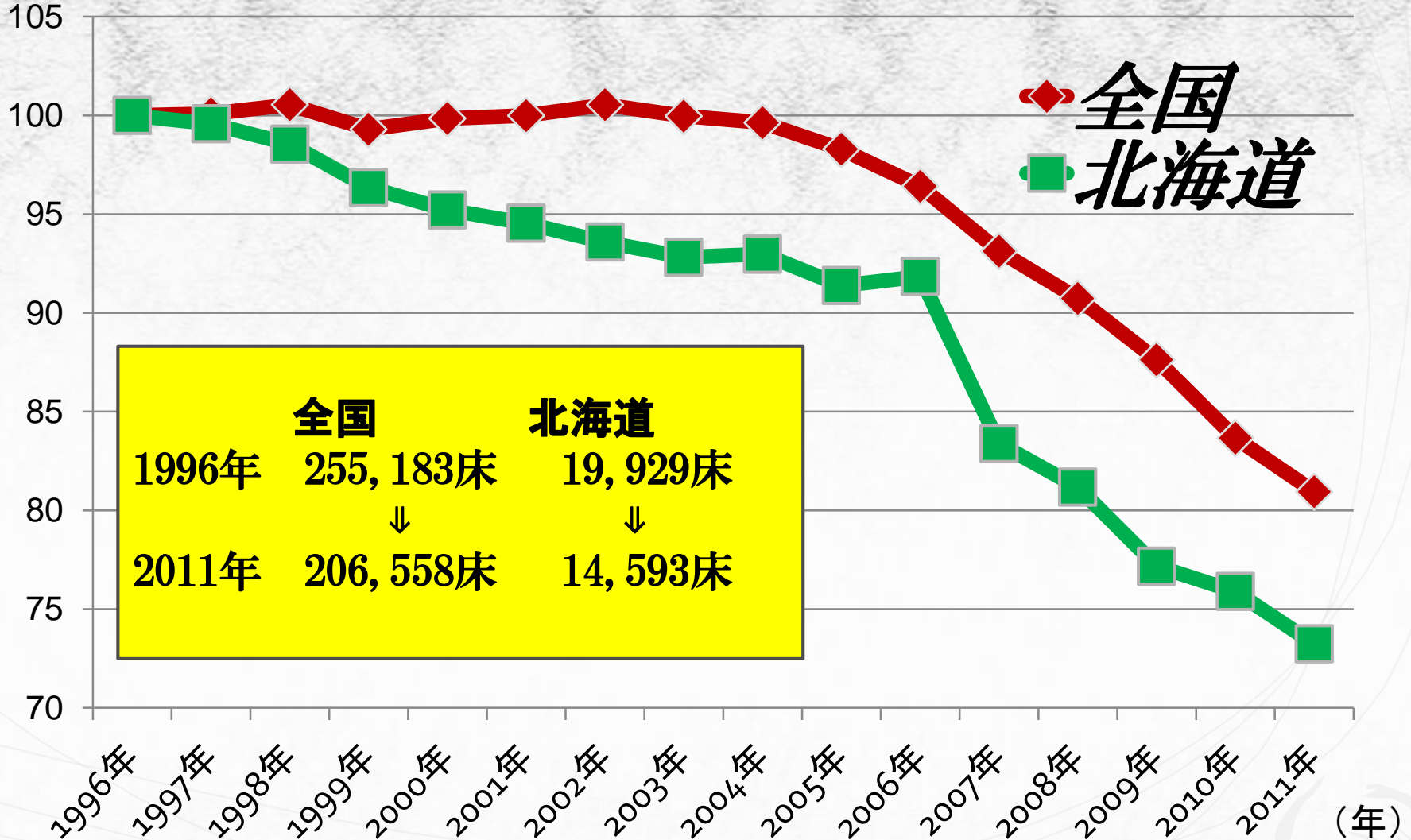
2007年総務省「公立病院改革ガイドライン」より

- 経営効率化
- 再編・ネットワーク化
- 経営形態の見直し



公的医療機関病床数の推移

変化率
(%)



Ⅲ 江別市立病院の 事例研究



江別市の概要



面積 187,57km²

人口 121,385人 (54,581世帯)

‘12年10月現在

北海道では第9位の人口数

‘12年6月現在

北海道総合政策部地域行政局市町村課調査結果より

江別地区・野幌地区・大麻地区 に分かれる。

れんが、野幌森林公園 で有名

江別市
Ebetsu City

江別市立病院

診療圏は近隣市町村で約15万人

- 1951年4月 「江別町立病院」として開院
- 1998年12月 新病院建て替え。診療科目は17科
- 2012年10月現在
一般病床数278、精神病床数59 合計337床

総合内科医師数

常勤医15人(派遣医2人含む)

3-2 内科医総辞職問題

『内科医総辞職問題』の発生

06. 8. 17付 北海道新聞 にて
「9月末までに内科医ゼロ？」と報道

⇒ 当時在籍の内科医7人全員が辞職提出

結果として…

9月末に常勤医がゼロ。

10月には2つある内科病棟を両棟閉鎖

原因

- ①04年から始まった新臨床研修制度や大学医局の
医師不足と地方離れ
- ②北大病院・札幌医大・旭川医大への派遣医師依存
- ③04年度末で累積欠損金(赤字)30億円以上
- ④新病院建て替え時の、内科細分化と夜間急病
診療所併設による医師の超過勤務

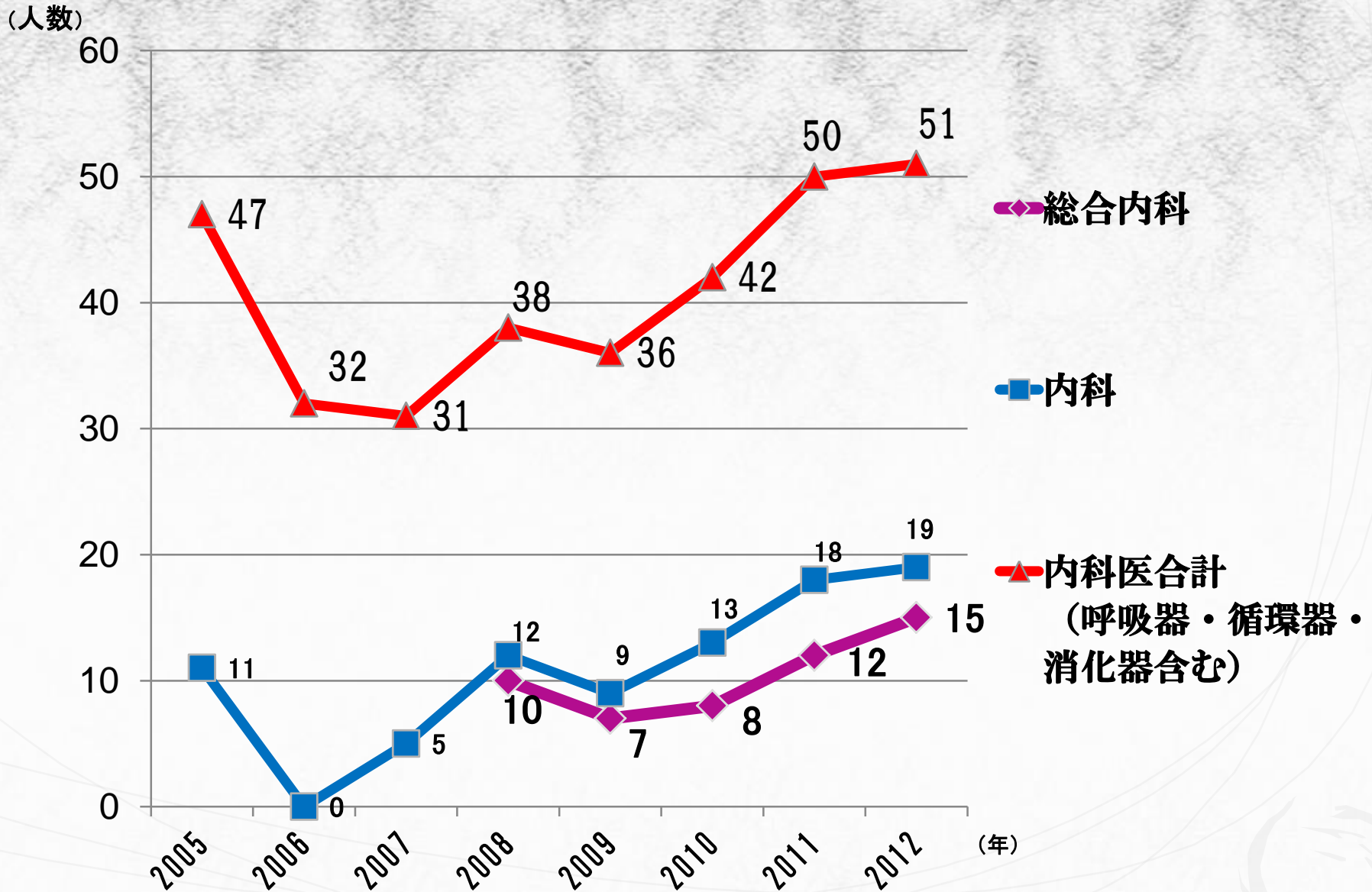
対策と試み

- **内科再建の切り札として、
08年4月～「総合内科」を設置。**
… 2010年10月、北海道より「総合内科医養成研修センター」の指定を受ける
- **夜間急病診療所を市へ移管**
… 医師負担の軽減
- **「地域医療を学ぶ場」としての整備**
… 道内外問わず、研修医の育成に地域医療を重要視させる。



常勤医10人体制。共に内科の二病棟を再開

内科医ゼロからの復活 ～内科系医師数の推移～



3-3 地域支援の取り組み

①地域医療連携室(2003年12月～)の設置

地域医療機関、保険・福祉機関との連携。健康セミナー講演会を通じた交流。

②他市町村へ。～総合内科の動き～

— 遠方の他市町村 —

赤平市や美唄市等へ外来の手伝い。離島(利尻島、天売島)には不定期に応援。また東日本大震災の被災地へ医療支援チームを派遣。

— 近隣市町村 —

南空知4町医療連携協議会を実施。また、江別市と栗山町で『地域医療に関する協定』を締結し、定期的に外来を応援。



地域医療連携の活性化